

## 第 14 回 いなべFM番組審議委員会議事録

1. 開催年月日 平成 28 年 10 月 27 日(木) 19 時 00 分～
2. 開催場所 ザ・グランドティアアラ千寿
3. 出席者 委員総数 6 名 出席委員数 5 名

### 出席委員

石原正敬委員長 牧野秀紀委員 日紫喜淳委員  
末松則子委員 種村道夫委員

### 欠席委員

石垣 英一副委員長

### 事務局

会長	弓矢孝己
顧問	川島修
事務局	中林謙太

## 4. 議題

1. 報告事項
  - ・10 月番組改編について
  - ・臨時放送実施について
2. 審議用サンプル番組について
  - 9 月 1 日放送特別番組
  - 「防災の日特別番組 備えよう 見直そう 防災」
3. 各番組メール集計について
4. その他

## 5. 議事の経過の概要及び結果

1. 報告事項  
<事務局より>  
10 月番組改編について。

番組改編期間について、3ヶ月更新だったものを10月より半年更新に変更します。番組について前クールからの変更点は、朝、昼、夕の帯番組のタイトル変更。中でも、少しでも多くの方にいなべの情報を伝えたいという思いから、朝、昼、夕の「情報バラエティ」となっていたものを全て「情報番組」としました。

放送時間の変更につきましては、他局での放送時間と出演者が同時時間となるため9月までの、土曜日 17:00～17:55 と 18:00～18:55 をそのまま入れ替えました。

また、日曜日の 11:00～11:55 の番組出演者の変更があります。

臨時放送実施について。

9月20日に上陸した台風16号の影響により、15:30にいなべ市藤原町大貝戸・坂本地区に避難準備情報が発令。それに伴い、15:30より番組内容を変更して台風情報、気象情報、避難準備情報を約15分～20分に1回臨時放送を行いました。18時には避難準備情報が解除、また台風も通過したため通常放送に戻しました。

<報告事項についての質疑>

・現在パーソナリティーは何名か。

「約20名」

・臨時放送の反響は(一般もしくはいなべ市から)。

「いなべ市危機管理課と連携を取り避難準備情報等を放送しました。

また、市内の方より緊急放送(割込み放送)を流すように要請があったようですが、市役所の方にお断りいただきました。これは、緊急割込み放送(コンセントがささっているか、充電がされていれば自動的に放送が大音量で流れる。)と臨時放送(ラジオを聴いていないと聴こえない。)の違いがわからず、意見の相違があったようです。誤解が生じないように、市民の皆さんに理解頂くよう説明が必要と感じました。どの時点で緊急割込み放送を行うかという規定を決めていないので早急になべ市役所と話し合いの場を持つと思えます。」

・地域で規定は違うと思うが、いなべ市の危機管理の分野と詰めていただいて、それが決まった時点で市民の皆さんにお知らせをすればいいと思う。

## 6. 審議内容

### 2. 審議用サンプル番組について

9月1日放送特別番組「防災の日特別番組 備えよう 見直そう 防災」(55分)

委員

パーソナリティーが非常に聴きやすい声の方で、相手の方(危機管理士)から上手に聴き出していた。特に熊本の益城町に行かれた体験談もされ、そこから順番に個人の家でどういう準備するのかまで話してくれたと思う。少し長く感じたがわからなかった個人の避難、準備のしかた等もそれぞれの生活スタイルに合わせてすればいいという話

をしていただいたので総合的には、いいお話だったと思う。せっかくなのでダイジェスト版のようなものを防災学習など、学校での教育の場で使っていただけるよう配布をしたりしてはどうか。

委員

本当に聴きやすかった。防災士の方も上手に対応していたし、間合い、スピード感も程よく良かった。

委員

非常によく、参考になったが、災害が起きてからの事が大半だったので起きる前に大衆をどうしていくのか、行政からのどれだけの補助があるのか、何にいくらかかるのか、そういったことがあるともっと良かったと思う。

委員

上手くまとまっていた。防災の日に3回流されたと思うが、いろいろな方にいなベエフェムがこういう取り組みもしているのだという事を知らしめるいい機会だったと思う。

委員

事前告知はどれぐらいしたのか。

事務局

いなベエフェムの番組内、ホームページ、フェイスブックで告知しました。

委員

番組的には内容も全く問題はないが、放送を聴こうとする人は聴くと思うが、10分しか聴けない人などもあると思う。そういった人たちに対してどういう情報の切り方をするのかと思うと、1時間の特番として割り切るやり方と、聴取者の聴くスタイル合わせる情報発信の仕方があるという位置づけなのか、番組編成上議論をされたのか、今後どうやってやられるか、もしあれば聞かせてもらいたい。

事務局

そこまで深く議論はしていなかった。1時間の特番として制作していた。

災害が起こった時期だけではなく今後も、9月1日の防災の日、3月11日の東日本大震災の日、1年の内この2日間は必ずこの特番をやろうということを常に言っていこうと考えています。1時間の中でできれば全て聴いていただきたいが、なかなかそういうわけにもいかないと思う。15分程度にまとめるなど議論していきたいと思う。

1時間の尺という頭で制作していたので最初から最後まで聴いていただかないとわかりにくい部分もあると思う。

委員

15分にしないでとか1時間がダメとかではなく、番組編成の方針、尺、内容、タイミングを考えてやっていけばいいと思うのでもう一度議論していただければと思う。

事務局

10分～15分のダイジェスト版も用意してこの2日間以外の日にも放送できると効果が出

るのではないのかなと思う。災害はいつ来るかわからないのでそれに備えてコンパクトな番組を用意しておくといいのかなと思う。

委員

曲が2曲入っていたが必要なのか。

事務局

番組構成上やインターバルの意味もありますが、前回の防災特番では被災地でよくかかっていた曲や、被災した方がこの曲を聴いて元気もらったという曲を選曲しました。今回も同様で、被害の大きかった熊本県益城町のテーマソングを、と考えておりましたが、曲を使用することができませんでした。

委員

番組が一時間という事で、曲が流れてきてホットできる事はあったが、フルで流す必要があるのか、1番だけでも良いのでは。

事務局

制作段階で番組中の曲をどうするか(あるなし、分数)と迷ったことはありましたが、1時間番組という事で曲を挟むことにしました。曲を挟むことでインターバルをとっていただくという考えです。今後、曲の分数も番組時間、構成等を考え協議していきます。

委員

曲を挟んだり長いと、途中で選局した時に違う番組と勘違いされないか。

事務局

そういう意味で行くと1時間は長いのかもかもしれません。

今後、協議していきたいと思います。

### 3.各番組メール集計について

前回同様ほぼ現状維持ですが、いなべエフエムリスナーさんより全国リスナーグループの方へ宣伝していただき、インターネットラジオを通じて全国の方からもいなべエフエムを聴いてメールをいただけるようになった。

## 7.審議事項に対してとった措置

次の番組制作会議にて検討予定。

## 8.公表の方法

自社ホームページ

## 9.その他

審議番組以外

委員

朝、昼、夕(生帯)の番組名が変わったが、変化があったことは。

事務局

大きく変わった点は、情報バラエティから情報番組になり、以前は2時間中に3分間のお知らせを2回やっていましたが、10月からは4分間を4回と増やし、少しでも多くの情報を市民の方にお知らせできるよう考えております。今後もいなべ市と連携して多くの情報をお伝えしていきたい。

以上